

株式会社ディスコ（現株式会社キャリアタス）  
「外国人留学生／高度外国人材の採用に関する調査」結果

調査対象	全国の主要企業22,110社
調査方法	インターネット調査
有効回答数	478社
調査時期	2023年12月11日～12月25日

優秀な人材の確保や社内の活性化などを目的に、日本の大学や大学院で学ぶ留学生や、海外の大学で学んだ外国人材、高度外国人材などの受入れに、企業は積極的な姿勢を見せている。

**2023年度に外国人留学生を採用した企業 … 21.8%**

本調査の回答企業で高度外国人材の雇用経験・予定のある企業は64.4%だった。これらの企業のうち、日本の大学または大学院に留学している外国人留学生（海外大卒を除く）を「採用した企業」は、2023年度（2023年4月～2024年3月入社、3月までの入社予定を含む）で21.8%であった。

2024年度（2024年4月～2025年3月入社）の採用見込みでは、「採用予定あり」と回答した企業が39.6%となっており、2023年度に比べ17.8ポイントの増加となっている。

過去5か年の採用企業の割合をみると、全体の2割から3割の企業が外国人留学生を採用していることがわかる。

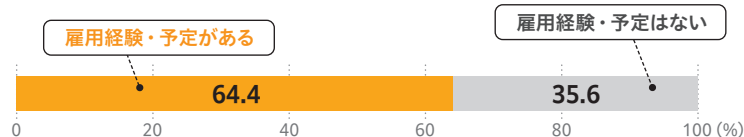
**グローバル化推進への理解、意識醸成…… 64.3%**

外国人留学生を採用したことによる自社への好影響については、「グローバル化推進への理解、意識醸成」がもっとも多く64.3%、以下、「異文化・多様性への理解の向上」「日本人社員への刺激・

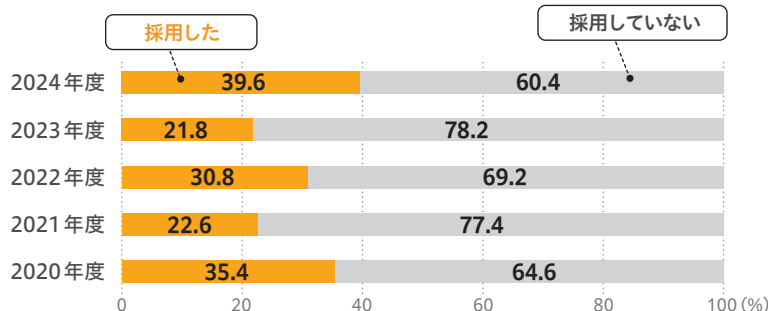
## 高度外国人材の雇用経験・予定がある企業で、2024年度に外国人留学生の採用を予定している企業は

# 39.6%

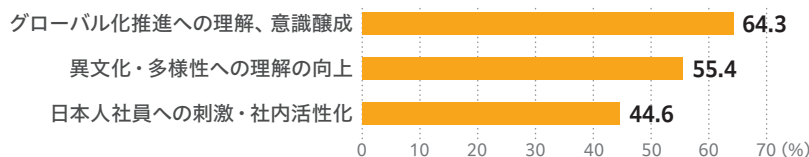
高度外国人材の雇用経験・予定のある企業 (n=478)



外国人留学生の採用実績（2024年度は見込み）



自社への好影響 【複数回答：上位3位まで】



社内活性化」などが続いている。グローバル化やダイバーシティ等の理解や醸成にメリットを感じている企業が多くなっている。

バブル経済崩壊後の“失われた30年”の間に、経済力はもとより、技術力においても日本の国際

競争力の低下が懸念されるなか、外国人材の獲得は時代の趨勢からみれば必然なのかもしれない。国境を越えた人材獲得競争の始まりである。

（インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊）